


提出 順番	No. 7	平成 24 年 12 月 3 日 午前・午後 1 時 00 分受領
----------	----------	--------------------------------------

平成 24 年 12 月 3 日

幕別町議会議長 古川 稔 様

幕別町議会議員 藤谷 謹至 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
スキー場の運営管理および整備について	<p>日本のスキー人口が爆発的に増え始めたのはバブル経済のはじける直前の 1990～1991 年シーズンで 93～94 年シーズンにはピークを迎えた。ピーク人口はレジャー白書によるとおよそ 1860 万人であった。しかし、年々減少の一途をたどり、2010 年にはスキー人口 570 万人、スノーボード人口 400 万人となっており、スノーボード人口を加えても全盛期の半分になってしまった。また、新聞報道によると、バブル期にこどもだった年代が大人になって家族を持ち、ファミリーでスキー場に行くケースが増えているらしく、大手のスキー場ではファミリー層を狙ったサービスに力をいれている。</p> <p>本町では明野ヶ丘・白銀台と 2 カ所のスキー場を運営管理しており、いずれのスキー場も初心者、ファミリー、学校教育と幅広い層に利用されている。また、今シーズン白銀台には新しい圧雪車が導入されることから、ゲレンデ整備の迅速化を図りスキーヤーの利用者増も期待したい。さらに、ナウマン全道そり大会が 30 回を迎えるにあたり、観光プロジェクト会議も発足し準備をしている。しかし、近年スキー場の輸送延べ人数は、明野ヶ丘では平成 23 年度 7 万 5 千人、白銀台 1 万 4 千人、使用料では明野ヶ丘 200 万円、白銀台で 800 万円と伸び悩んでいる状況にある。十勝管内の他のスキー場では、広告費をかけ様々なサービスを打ち出し、スキー客を呼び込む作戦を取っている。そこで以下の点について伺う。</p>

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
	<ol style="list-style-type: none"> 1 第5期幕別町総合計画の中の、第2章、第5節 地域性あふれる観光の振興、スキー場を活用した冬のアウトドア型観光の推進とあるが、具体的な方策を伺う。 2 初心者、ファミリー層、学校教育に利用しやすいスキー場の環境整備の方策について伺う。 3 白銀台スキー場ロッジにおいて、震度5の地震で2階の研修室のつり天井が落下したが、管理面での危険性はないのか伺う。 4 宿泊ロッジを含めたシーズンオフのスキー場利用における夏場の環境整備・焼き肉スペースのあり方について伺う。 5 ボードのコースにおいて、フリースタイル用の器具等は、個人・サークルの好意によって設置されているが、町としてのサポート体制、スキー協会・スキー学校等の連携協力について伺う。